

平成 30 年 7 月 3 日

各 位

住 所 大阪府吹田市春日 3 丁目 20 番 8 号
会 社 名 シップヘルスケアホールディングス株式会社
代 表 者 の 代 表 取 締 役 会 長 C E O 古 川 國 久
役 職 氏 名 (コード番号：3360 東証第一部)
問 い 合 わ せ 先 常 務 取 締 役 横 山 裕 司
電 話 番 号 0 6 - 6 3 6 9 - 0 1 3 0

国際協力機構（JICA）との出資契約締結に関するお知らせ

当社子会社であるグリーンホスピタルサプライ株式会社（GHS）は、国際協力機構（JICA）との間で、7月3日、当社子会社であるバングラデシュ法人Ship Aichi Medical Service Limited（以下「SAMSL」）が進めている、民間総合病院の設立・運営を対象として、JICAより出資を受けることにつき契約締結・調印しました。本件は、ダッカのイーストウエスト医科大学病院（注1）と、GHSが設立したSAMSLが行う、イーストウエスト医科大学病院（2000年開院、280床）の拡張・運営事業を支援いただくものです。SAMSLは、「日本の病院経営のノウハウを活かしつつ、国際水準の医療サービスを良心的な価格でバングラデシュの人々に提供する」ことを理念として掲げており、増築及び新棟建設によりイーストウエスト医科大学病院を許可病床650床規模に拡張し、専門性の高い診療科目を新設することで、医療水準の向上に寄与することを目指しています。バングラデシュでは、人口10,000人当たりの病床数は6床（注2）と極めて低水準にあり（世界平均は27床、バングラデシュと同じ低中所得国平均は10床）、医療従事者についても、人口1,000人当たりの医師や看護師の数が計0.66人（注3）（WHOは2.28人を下回る国を医療人材不足が深刻な国と定義）と大幅に不足しています。また、バングラデシュは、食生活や生活様式の変化等により、感染性疾患から非感染性疾患への転換が進み、全疾患の61%を心血管疾患やがん等の非感染性疾患が占めています（注4）。しかし、疾病構造の変化にも関わらず、非感染性疾患に対応した医療インフラの整備が遅れており、高次医療を担う病院の整備、医療人材の育成がバングラデシュの大きな課題となっています。

こうした現状を踏まえて、バングラデシュ政府は、公正で質の高いヘルスケアを全ての国民に確保することを目標に、民間セクターを活用して医療サービスの向上を図ることを政策に掲げています。日本の病院経営ノウハウを活かして専門性の高い医療サービスを提供する本事業は、バングラデシュ政府の政策を後押しするものです。加えて、本事業は、海外に日本の医療拠点を2020年までに20ヶ所創設することを目指す日本政府の未来投資戦略（2017年）にも寄与するものです。

JICAはこれまでバングラデシュの医療セクターに対して、「母子保健および保健システム改善事業（円借款）」（2015年、注5）や「看護サービス人材育成プロジェクト（技術協力プロジェクト）」（2015年～2020年、注6）などを通じて、バングラデシュ政府に対して医療設備・機材の整備、看護師の育成支援を実施しています。

当社グループは、海外支援の豊富な経験とノウハウを有するJICAとの連携を通じて、本プロジェクトの成功を確実なものにしてまいりたいと考えております。

- (注1) バングラデシュの民間医科大学附属病院。内科、外科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、循環器科、皮膚科、リハビリ科等、幅広い診療科目を提供する280床規模の総合病院。
- (注2) 出典：World Health Statistics 2014
- (注3) 出典：The World Health Report 2016
- (注4) 出典：Health Bulletin 2016
- (注5) 参考：https://www.jica.go.jp/press/2015/20151214_01.html
- (注6) 参考：<https://www.jica.go.jp/project/bangladesh/005/index.html>

以上